

記入例

(様式第1)

令和7年12月1日

黒石商工会議所 会頭 殿

黒石商工会議所 理財・情報産業部会 部会長 殿

郵便番号・住所 〒036-0307
黒石市市ノ町5-2
事業所名・法人名 ㈱黒石商工会議所
主たる業種 サービス業
代表者役職・氏名 代表取締役・商工 太郎
担当者氏名 商工 花子
担当者連絡先 0172-52-4316

※印鑑等は
不要です

令和7年度 黒石商工会議所 理財・情報産業部会
I T ツール導入・販路開拓支援助成金申請書

上記助成金の交付について、下記の書類を添えて申請します。また、申請にあたっては、「I T ツール導入・販路開拓支援助成金公募要領」の内容を確認し、その内容を十分に理解しています。

記

- ・助成事業計画書（別紙）
- ・助成対象経費が確認できる書類（見積書等）
- ・直近の会計年度の決算書（貸借対照表・損益計算書）または開業届

助成事業の目的及び内容

（別紙）助成事業計画書のとおり

助成事業の開始日および完了予定日

交付決定日～令和8年2月28日

以上

会員番号

※

※商工会議所記入欄

記入例

(別紙)

助成事業計画書

1. 現状認識

(1) 自社の事業概要

当社は昭和 22 年（1947 年）に創業した経済・税務関連サービス業で「地域経済の振興に寄与する」を目標に税務相談、記帳指導・記帳代行などのサービスを提供しています。黒石市内を商圈としており、売上の 6 割は決算手数料、3 割は記帳料です。事業別売上構成、主要顧客は次の通り。

1. 決算手数料 ○万円 (○%)
2. 記 帳 料 ○万円 (○%)

(2) 自社の経営状況・経営課題

売上は令和 5 年 1 2 月期の時点で○万円、令和 6 年 1 2 月期で○万円と減少しています。営業利益についても令和 5 年 1 2 月期は○万円、令和 6 年 1 2 月期は○万円と減少しています。事業者からの売上・利益が○○を要因として、前年より○%減少したことが考えられます。

地域の少子高齢化に伴い主な顧客の年齢層が高くなっており、将来的に持続可能な経営を目指して 20～30 代の個人事業主のお客様を新たに獲得したいと考えております。

※記入欄が足りない場合は、任意の様式でページを追加してください。

記入例

2. 助成事業の概要

(1) 本助成金を利用して実施する予定の事業について、最もあてはまるもの1つに✓を記入してください（複数選択可）

- ☐ ウェブサイト関連
☐ I T ツール導入関連
☐ 販路開拓・拡大に伴う広報活動

(2) 助成事業を実施する際、商工会議所会員相互の発展のため、当所会員事業所に制作等を依頼しますか（いずれかに✓を記入してください）

- ☐ 依頼する
☐ 依頼しない

(3) 助成事業の実施に際して、必要になる経費の見積金額を以下に記入してください

内 容	経費内容 (単価×数量) 単位：円	補助対象経費 単位：円
ウェブサイトリニューアル委託料	@88,000 円×一式	88,000
広告掲載料（●●新聞）	@33,000 円×一式	33,000
(ア) 経費合計		121,100
(イ) 助成金申請額 （上限 10 万円）		100,000

※金額はすべて税込金額で記入してください

※記入欄が足りない場合は、任意の様式でページを追加してください。

記入例

3. 助成事業の詳細

(1) 本助成金を利用して実施する予定の事業の内容について、以下に詳細を記入してください

- ・これまであまり力を入れていなかった当社ウェブサイトの内容を改修し、主にインターネットで情報を得る若い世代に対して積極的に情報を発信する体制を整える。
- ・確定申告や源泉徴収、日々の帳簿作成など専門知識がなければわかりづらいようなことをなるべく簡潔にウェブサイトに掲載し、それに対して当社がどのようにサポートできるかなど、お問い合わせをいただく入口になるような内容を掲載する。
- ・ウェブサイトの改修にあわせて、ウェブサイトにつながるQRコードを掲載した新聞広告を掲載し、新規顧客の開拓につなげたい。

(2) 事業を実施することにより期待できる効果を、「事業実施から〇年後の客数・売上高」などの具体的な数値目標を交えて記入してください

- ・新たに20～30代の新規顧客を1年で10人、売上を100万円増やすことができる。
- ・年間200件ほどある電話での問い合わせについて、代表的な質問をウェブサイトに掲載しておくことで双方ともに時間の短縮となる。

(3) 本事業で制作した成果物を管理・運用・活用する、または行った事業の効果を持続するためにどのような社内体制を整えるか、以下に記入してください

- ・これまでは特に定めていなかったウェブサイトを管理する担当の社員を決めて、不定期だったページの更新を最低月2回以上行うようにする。
- ・ゆくゆくはFacebookやInstagramなど、当社のSNSアカウントを作成し、連携して運用していきたい。
- ・本事業で制作する新聞広告の原稿をもとに、さらに内容をブラッシュアップした原稿の定期的な掲載または他の媒体へ転用して掲載するなど、継続的に活用していきたい。

※記入欄が足りない場合は、任意の様式でページを追加してください。

記入例

4. あなたの会社・事業所を全く知らないお客様に向けた「自社の主力商品・サービスの魅力」を以下に記入してください。（A4用紙1枚以内）

自由にご記入ください